

# 網島ひとつプラン ニュース

第8号

2016年(平成28年)4月1日 発行

第3期「ひとつプラン港北」網島地区計画

(平成28～32年度)がスタートしました

まもなく皆様のお手元にお届けします。

第3期網島地区計画の策定は、港北区地域福祉保健計画(愛称「ひとつプラン港北」と一体的に策定いたしました。今後、網島地区計画の推進に当たっては、区の支援をいただきながら、網島地区に相応しい取組みにより、区と連携して取り組んでいくこととなります。

また、第3期「ひとつプラン港北」網島地区計画(平成28～32年度)から、「元気でふれあうまち網島」から「未来へ夢育むこれからのまち網島」に愛称も衣替えしました。もちろん、計画目標も「わたしたちが 目指すまち」として、※新しい取組み目標を掲げています。

詳細は、第3期「ひとつプラン港北」網島地区計画(平成28～32年度)を是非ご覧ください。

今号は、第2期計画に敬意を表して従来の名称のままとしました。

※新しい取組み目標

- みんなが・育てあい育ちあい 愛着のあるまち 網島
- だれもが元気で優しく 住み続けたいまち 網島
- 防災防犯で安心安全 たすけあいのまち 網島

① ひろがる、理解がひろがる、担い手がひろがる、

ネットワーク部会からのレポート第三弾！

特集

各自治会町内会の取組状況の概要

前号に続き網島地区各自治会町内会の「災害時要援護者支援事業取組事例」をご紹介します。

各自治会町内会の取組状況の概要

自治会町内会名	取組の概要	課題	今後の予定	備考
網島東親和会	町会の会長(老人会会長)、副会長、役員及び民生委員で第1回要援護者支援の会議を行いました。三人一組のグループを作り、町会4区分の担当を決めました。	現実に要援護者支援活動が可能か協議(個人情報も含む)が必要です。	3月下旬に第2回会議を行う予定。	
網島親友会	要援護者の把握及び支援方法について、班長会議において周知と検討を進めている状況。	自治会未加入者における要援護者の把握。但し、関係を望まない居住者との関係づくりは現実的に難しい側面がある。	民生委員の活動と連携して要援護者の把握と支援方法を検討。	

各自治会町内会の取組状況の概要

自治会町内会名	取組の概要	課題	今後の予定	備考
綱島西広町自治会	自治会では、役員、班長以外の一般会員の皆さんに声掛けや小さなことでも出来ることを通してサポーターになってもらい、会長を中心とした役員だけの取組み活動から一般会員が、自ら応分の力を発揮して行事等が行えるように取り組んでいく。これを「チーム広町」と称している。	①要援護者の確認・サポートメンバーの確認 ②誰が誰を見守るのが自治会の命題 ③サポーターの拡大・あいさつ、声掛け運動の推進	①平成27年度から実施している「実情把握」を二か月単位で行う。 ②自治会活動を通してサポーターの拡大を啓蒙する ③各種自治会活動の中で防災活動を主体に企画実施していく	宅配業者・新聞配達・配食業者など、地域の人々にかかわる人たちとの提携、連帯を構築
綱島住宅自治会	年1回自治会費集金の際に各階役員が高齢者（77歳以上）名簿の改定をしている。また、「敬老の日」に当自治会独自の記念品を届ける際、要望でご意見を伺っています。また、独自行事においては、三世帯交流を計れるような企画をしています。	災害の内容（洪水、地震、津波）と程度（全壊、部分損壊、インフラ停止）により、生活拠点と北綱島小学校地域防災拠点を中継する中間拠点となる可能性があり、それにどのように対応できるかが課題です。	災害時要援護者を高齢者、障害者、こども（子育て世代）、単身世帯と位置づけ、各ネットワークが連携することにより、連帯支援のシステムをつくることを考えています。	単身世帯を対象とした「セルフマネジメント、セルフケア」をテーマとしたセミナーなどを開催し、「介護」を軸に、高齢者とのネットワーク連携をはかることなど。

(注) 綱島中町自治会、綱島東町自治会、綱島中央町会は、紙面の都合により次号となりました。

自治会町内会 紹介コーナー (第5回)

綱島中央町会は、今回も特集記事の関係により次号掲載となりましたのでご了承ください。

⑤ 開催日  
平成28年3月23日  
場所 親友会館  
参加者数10名(スタッフ5名)  
内容  
高齢者向エアロビクスと懇談

④ 開催日  
平成28年2月23日  
場所 金子邸  
参加者数17名(スタッフ4名)  
内容  
合唱と懇談

③ 開催日  
平成28年1月20日  
場所 親友会館  
参加者数1名(スタッフ3名)  
内容  
高齢者向エアロビクスと懇談

② 開催日  
平成27年11月25日  
場所 親友会館  
参加者数15名(スタッフ4名)  
内容  
合唱と懇談

① 開催日  
平成27年10月21日  
場所 親友会館  
参加者数5名(スタッフ4名)  
内容  
高齢者向エアロビクスと懇談

② ながる  
まちを知る、ひとを知る、  
活動がにつながる

地域交流部会からのレポート!  
地域交流部会(後期)報告  
■ 綱島東地区 ふれあいの家

---

② 開催日  
平成28年3月19日  
場所 綱島地区センター  
参加者数48名(スタッフ9名)  
内容  
高齢者向エアロビクスと腹話術

① 開催日  
平成27年7月22日  
場所 綱島地区センター  
参加者数52名(スタッフ10名)  
内容  
漫談「オレオレ詐欺」について

② ながる  
まちを知る、ひとを知る、  
活動がにつながる

■ 綱島西地区「ふれあいサロン」

会館と親和会会館を使用して行う予定です。  
・今後の日程については回覧板および掲示板にてお知らせします。



高齢者向エアロビクス



「合唱と懇談」会場風景



腹話術

# 網島ふれあい広場～



網島地区社会福祉協議会のコーナー

平成27年11月10日(火)

「住民向け啓発講座」～網島地区センターで開催！

長寿時代の到来で健康であることの大切さが大変重視されてきましたので、今回は介護保険の概要と介護保険を利用しなくても健康で過ごせるための「介護予防講座」を開催しました。

港北区役者から2名、樽町地域ケアプラザから1名の各講師をお招きして「お話」と「健康増進のための運動」でひと時を過ごしました。参加者は47名の盛況でした。



平成27年11月16日(火)、17日(水)  
「網島地区連合自治会と合同の研修会」

～平成27年9月10日(木)に発生した「茨城県常総市大水害」の現状などを視察！

被災地である茨城県常総市の被災地を視察しました。被災状況などをビデオ使ったお話でその被害のすさまじさを実感しました。網島地区には鶴見川があり、何時同じような災害に遭遇するかもしれないという意味で、「自助、共助」の大切さを改めて痛感しました。



説明会場の守屋消防署



参加者の皆さん

平成28年1月9日(土)

「網島地区賀詞交換会」開催

～参加者100名余りの大盛況！

網島地区連合自治会との共催で恒例の「網島地区賀詞交換会」を、ザ・ニューオークラで来賓に横山港北区長さんをはじめ沢山の皆さんのご出席をいただき盛大に開催いたしました。



平成28年2月24日(水)

「網島地区社会福祉協議会施設見学会」

(網島地区連合自治会参加)実施！

網島駅東口の開発の参考にするため、先行開発地域～高島町、戸塚、二俣川、二子玉川、武蔵小杉の5か所をつぶさに視察しました。有意義であり網島の発展を期待する気持ちでいっぱいでした。参加者47名でした。



～福祉相談コーナーのお知らせ～

網島地区及び近隣住民の困りごとや、相談、お問い合わせの対応や、福祉情報を提供します。

日時 毎週金曜日 10時～12時

場所 網島地区センター 2階

娯楽室に隣接の畳コーナー

担当者 網島地区社会福祉協議会役員

【電話】専用の携帯電話にてのお問い合わせにも対応しています。

Tel 070-2209-2000

(日時は同じく、毎週金曜日の10時～12時)



お気軽にご相談ください  
お待ちしております。

# 元気でふれあうまち 網島

2016年(平成28年)4月～2016年(平成28年)9月

## イベントカレンダー

開催日		イベント	会場	主催
28年	4月	2日(土)	第25回網島さくらまつり	網島公園 網島地区連合自治会 網島地区社会福祉協議会
		9日(土)	第5回網島菜の花まつり	鶴見川河川敷 網島地区連合自治会
	7月	30日(土) ～ 31日(日)	第49回網島少年すもう大会	網島小学校 (相撲場) 網島地区連合自治会 網島少年すもう大会実行委員会
	8月	13日(土) ～ 14日(日)	第8回「みんなで元気」 網島盆踊り大会	網島小学校校庭 網島地区連合自治会 網島盆踊り大会実行委員会
		20日(土)	わんぱくおぼけ大会	網島地区センター 及び網島公園周辺 わんぱくおぼけ大会実行委員会
		27日(土) ～ 28日(日)	諏訪神社例大祭	諏訪神社 及び網島地区各所 各自治会町内会「神輿会」
	9月	19日 (祝月)	網島地区「敬老祝賀会」	網島地区センター (体育館) 網島地区連合自治会 網島地区社会福祉協議会

### 編集後記

「ひっとプランニュース」は、平成二十四年十月一日に創刊され、今回で八号を迎えました。また、平成二十三年度からの第二期計画時から「ひっとプラン港北」網島地区計画推進委員会という新たな看板でスタートして、五年の歳月が過ぎました。

愛称名「ひっとプラン港北」が付いたこともあって、少しずつではありますが、計画の内容が伝わり始めてきたようにも思います。しかし、子育てのこと、高齢者、障がい者(児)の日頃の見守りや介護などについて、日常的に不安に過ごされている方々に対して、地域でどのように支援や見守りができるかということは一朝夕ではかなえられることなく今日まで来ています。

そして、平成二十八年四月から第三期の計画が策定され、新しい目標に向かって歩き始めることになりました。

せめて、これからの五年間で、「向こう三軒両隣」という日常的な関係が一筋の光となつて、地域全体に広がり、安全、安心な素晴らしい町として動き出して行ければと願っています。これは編集子の独り善がりの夢です。……了

